

令和7年度第1回行方市総合教育会議

○開催日時 令和7年7月25日(金) 午前8時30分～午前10時13分

○開催場所 行方市役所 北浦庁舎2階 第2会議室

○出席委員

教育長	柏葉 伸一郎
委員	大崎 あい子
委員	明石 延之
委員	久米 雅文
委員	小野口 和章

○事務局出席者

教育部長	大野 秀喜
学校教育課長	森作 保繁
生涯学習課長	大場 正浩
スポーツ推進室長	鈴木 喜政
学校教育課指導室長	石川 英樹

1 開 会

2 あいさつ

3 付議案件

(1) 行方市教育大綱について

(2) 公立幼稚園のあり方について

(3) 学校体育館の空調整備

(4) その他

・行方市いじめ及び不登校の現状と課題について(報告)

・行方市教職員の働き方改革について

4 その他

5 閉 会

○議 事 録

1 開 会

大野部長から開会の宣言がなされました。

2 あいさつ

鈴木市長からあいさつがありました。

柏葉教育長からあいさつがありました。

3 付議案件

議事録署名委員に明石委員を指名しました。

(1) 行方市教育大綱について

発 言 者	発 言 内 容
大崎委員	知識等の習得だけではなく、主権者教育のような、社会の担い手としての意識形成を並行して実施していくことが必要だと思います。
石川室長	本市では郷土と社会を切り開く課題解決型の学習という、総合的な学習の時間でなめテレを使って発信することを実施しています。小さい頃から郷土愛も含めて、行方市の良さや課題を解決するためにどうすればよいか、子どもたち自身が探求的に学習を進めるということを系統的に実施しています。
明石委員	教師も児童生徒も、自己有用感の育成が今後とても大切になると思います。簡単に人に流されない、自分や人を軽んじない、そういった人生の歩み方ができることが、この大綱の中で押さえておくべきことだと思います。
鈴木市長	主権者教育や地域との繋がりというところがありますが、他市の大綱との違いを意識しながら、本市としては、子どもや保護者が郷土愛をどういう風に捉え、どういう風に方向付けをしていくのかということも、大綱の施策の中に入れていただければ、行政としてもバックアップをしていきたいと思っています。

(2) 公立幼稚園のあり方について

発 言 者	発 言 内 容
大崎委員	資料を見ますと、令和7年度の公立幼稚園の園児数の割合と比べて、こども園・保育園の入所児童数の割合が高いことがわかります。特に玉造地区が高いように感じますが、就労形態等、どういった理由からなのでしょう。
森作課長	核家族化の進行によって、自宅で見られる祖父母がいない、または近くにいないご家庭が多くなっております。また、共働きのご家庭では、子どもが生まれてすぐに保育園またはこども園へ入れる場合が多い現状があります。一度入ると、途中で幼稚園へ転園するパターンが少ない状況が続いていることも理由だと思います。
小野口委員	公立としては今後も最大限努力を続け、保育機能と幼稚園機能を充実させ、その

鈴木市長	<p>二つを上手にミックスしたような幼稚園にしていく形が良いと思います。市として最大限の努力をしているというスタンスの幼稚園ができればいいと個人的には思います。</p> <p>働き方の環境が随分変わってきたと思います。公立だからまだこの少人数でも受け止められますが、民間であれば、おそらく閉園になります。こういった部分をもう少し深くアンケートで確認したり、周知をうまく展開したりしないと、住みやすい街なのかどうかという点で判断されてしまいます。</p> <p>今後、こども園の流れをどう作るのか、手のかかる子供たちを公立でどう扱うのかという視点も重要なので、その点を踏まえた中で、あり方を検討していただけるとありがたいと思います。</p>
------	---

(3) 学校体育館の空調整備について

発 言 者	発 言 内 容
鈴木市長	<p>今、蓄電機能の技術がすごく上がっています。例えば、夏場に台風と地震が同時に来て、体育館へ避難した際、停電が起きると冷房が効かなくなりますので、そういったときにどうするのが大事です。以前、真夏に本市で竜巻の発生により停電した際、急遽、麻生公民館を開けてクーリングシェルターにしたこともありましたので、冷暖房というのは、ものすごく重要になります。ですから、蓄電池を入れることで、ランニングコストも含め、最低でも復旧するまでの3日程度は構えなければならぬので、これは行政として防災の面、環境の面から、力を入れてきたいと思っています。</p>

(4) その他

- ・行方市いじめ及び不登校の現状と課題について(報告)
- ・行方市教職員の働き方改革について

発 言 者	発 言 内 容
鈴木市長	<p>いじめと不登校の関係で、お陰様でフリースクールが全校に入ったということはありがたい話です。その分を人件費として行政で出すのは当然だと思っておりまして、そこはやはり人海戦術じゃないと難しいところだったと思います。様々な家庭環境があって、ある程度踏み込まなければいけないというところがあります。</p> <p>教職員の働き方改革については、できるものはできる限り入れるというのが、行政としての私の方針です。そのハードの問題等をどんどん入れ、改善をしていくしかないと思います。対親御さん対策にものすごく時間がかかるというときに、色々なことをやっている自治体があるそうです。そういった自治体を参考に、行政も力を入れたいと思います。</p>

5 閉 会

大野部長から閉会の宣言がなされました。